東京シェイクスピア・カンパニープロデュース

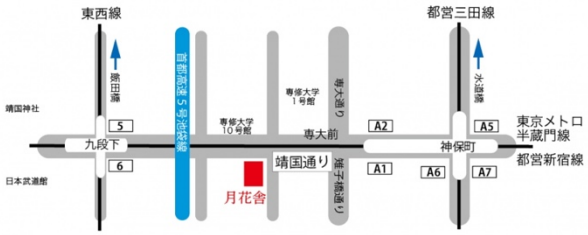
シェイクスピア・カフェ９

原語と日本語の朗読でほろ酔い気分に

「南部弁マクベス降臨」「マクベス」「マクベス裁判」

テキスト翻訳・演出：江戸馨　「マクベス裁判」奥泉光 作
６月２７日（金）19 時 30 分開演
大ママ：江戸馨　　特別ゲスト：紺野相龍（座布団役者の会）
楽士　奥泉光（作家　芥川、谷崎、野間、川端賞　他受賞）
ご予約／お問合せ：edokaoru.tsc@gmail.com
http://tokyoshakespeare.com/

@月花舎 http://gekkasha.modalbeats.com/
（神保町・九段下　神保町駅１番出口１分）
上演時間１時間 10 分
料金：￥3,000
ワン・ドリンク付　２０名限定　要予約



About 東京シェイクスピア・カンパニー
Tokyo Shakespeare Company

演出家であり翻訳家でもある江戸馨が１９９０年に設立。江戸が原本から翻訳・演出をする日本で唯一のシェイクスピア劇専門のカンパニーとして活動を続けている。また、シェイクスピアを題材にしたオリジナルシリーズ「鏡の向こうのシェイクスピア」も。各地で再演を重ねている奥泉光（芥川・谷崎・野間、他文学賞受賞）作「リヤの三人娘」（演出：江戸馨）は、英語にも翻訳され、本国イギリスでも出版されている。

ドラマティック・リーディング　シリーズ

2003 年スタート。テーマを決めた場面の抜粋朗読から、全文朗読まで、その場に合わせて内容と方法を変えている。東京の劇場以外でも、山手演劇祭（洋館）、大学、軽井沢（ペンション）等々、どこへでも出向いて上演。リーディングと同時に行われる、江戸馨の解説―解釈、過去の名舞台、舞台上演の裏話等―が楽しく、より理解を深める演出と好評を得ている。

今回の企画は、シェイクスピアの原文の面白さも俳優の声で体験してほしいとスタート。
同じ場面を江戸訳による日本語と英語で読むのが分かりやすく楽しめる、と好評。